

2023 年度 西町会アンケートの結果報告

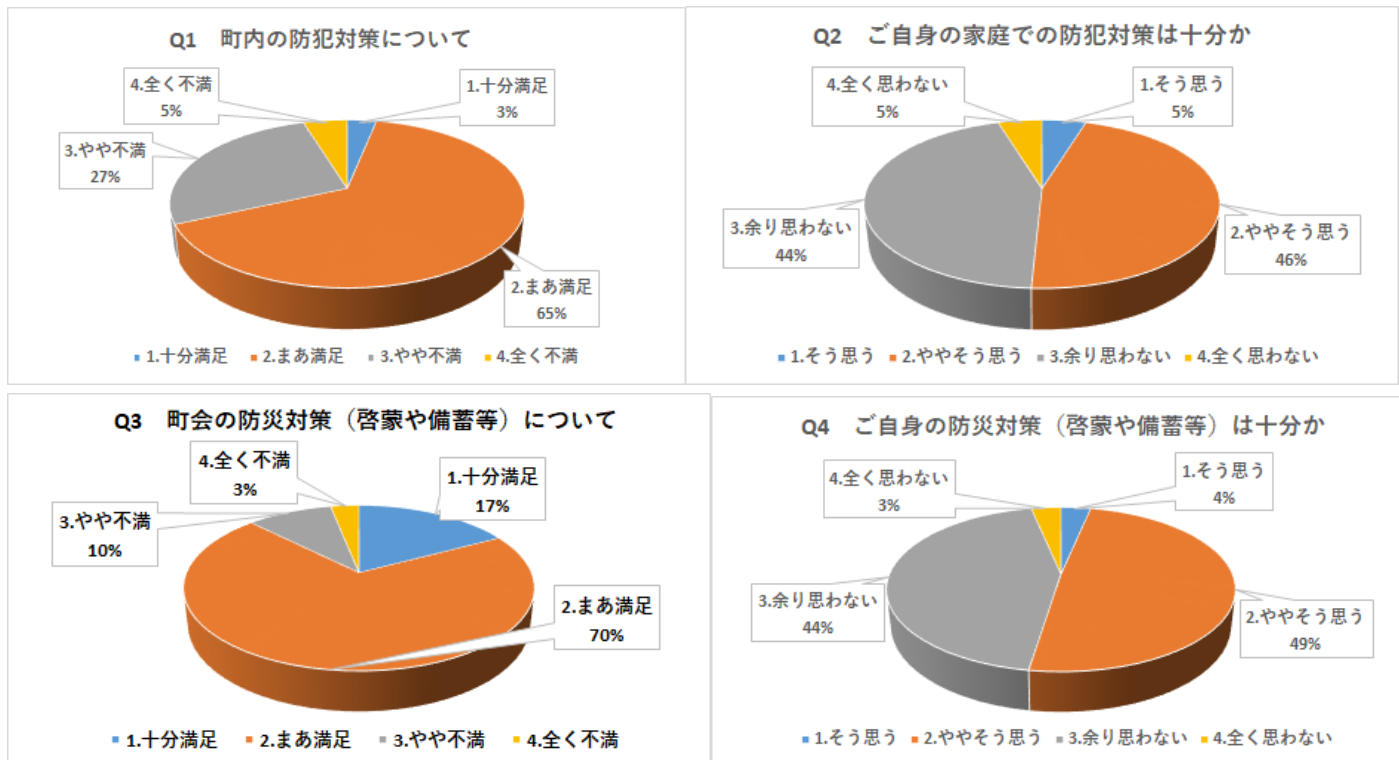
文責：2023 年度西町会役員会

1. アンケートの回収状況

2023 年度町内会加入戸数 102 戸中、64 戸からアンケートが回収された（回収率 62.7%）。

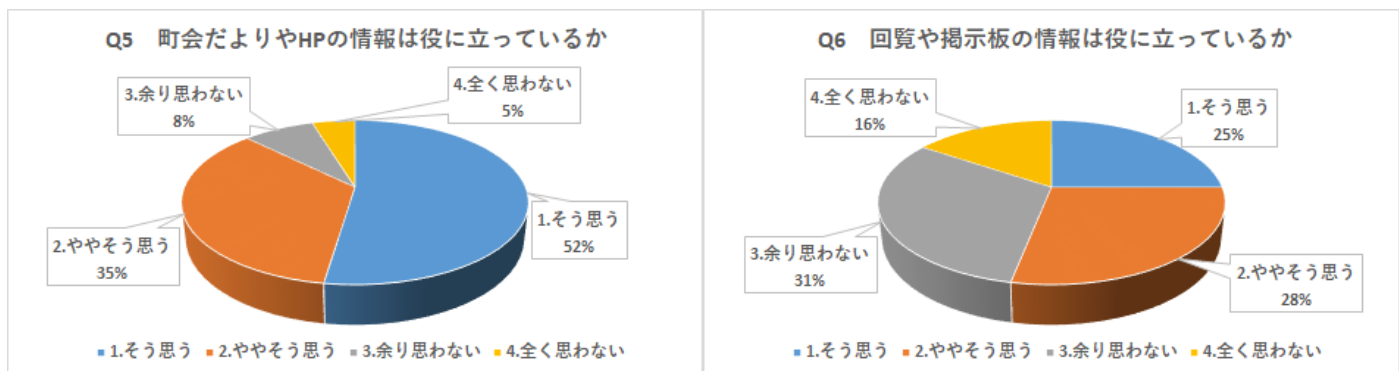
2. 防犯・防災に関する結果

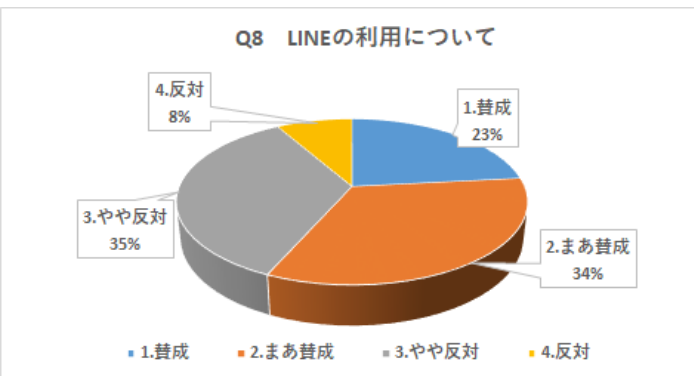
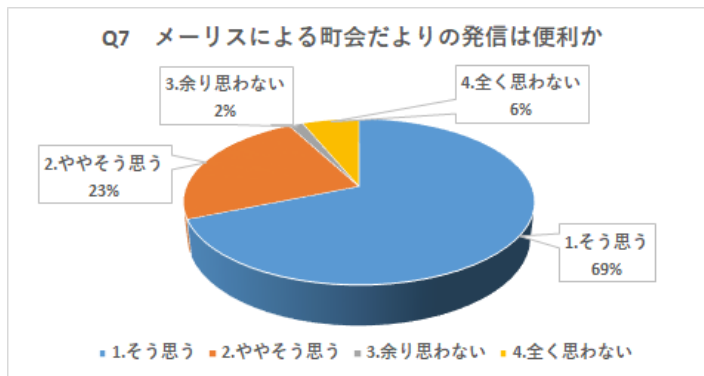
以下の回答結果から、町内会の防犯・防災対策については、おおむねのご家庭に満足してもらっていることが分かる。これに対して、各ご家庭での個別の防犯・防災対策については、半数程度が十分ではないと認識している。



3. 情報の発信に関する結果

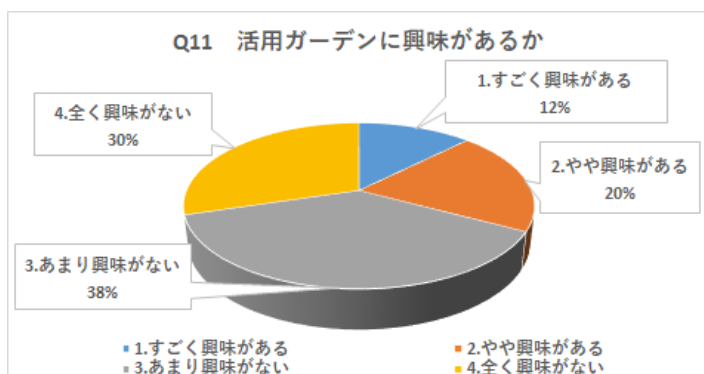
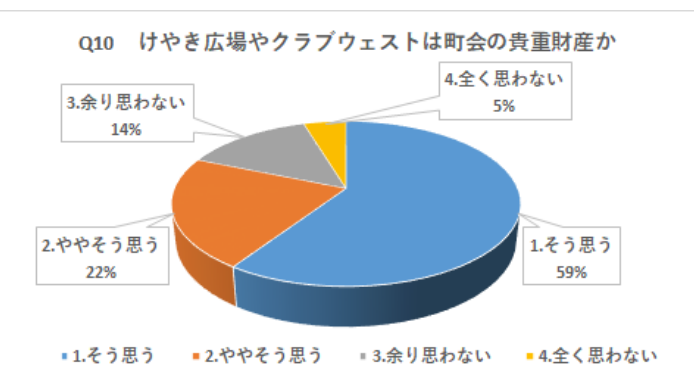
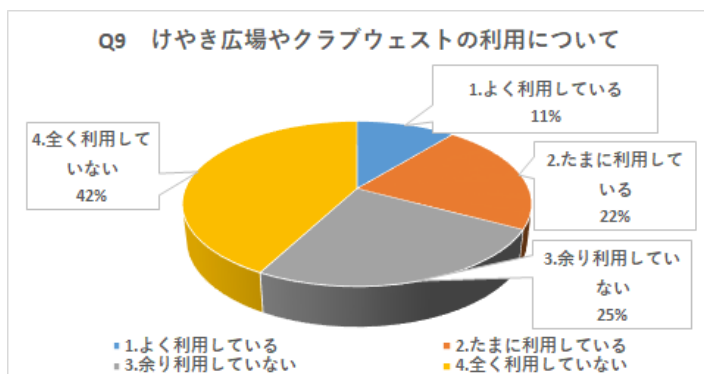
町会だよりのメーリスでの発信やホームページの情報は、90%前後の方々に役に立っている、あるいは便利だと認識されていることが分かる。これに対して、回覧や掲示板については半数近くの方々が、役に立っていないと認識されている。また LINE を情報共有のために利用することについては、賛成がやや多いが、反対もかなり多い。





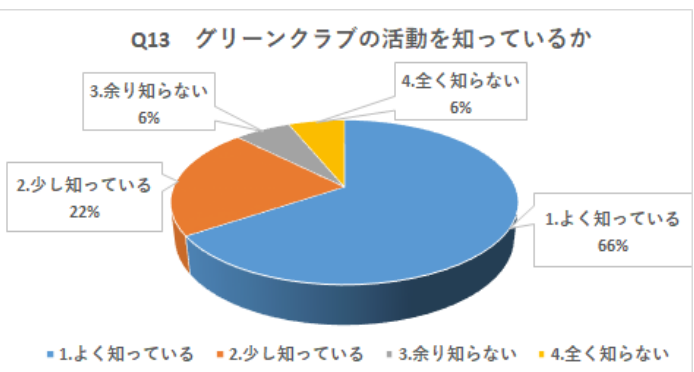
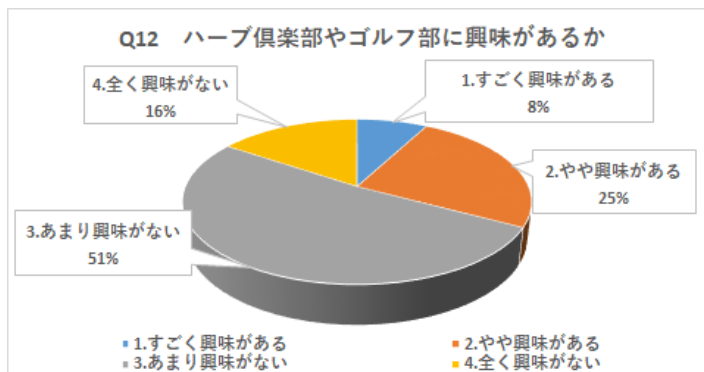
4. 町会の資産の活用に関する結果

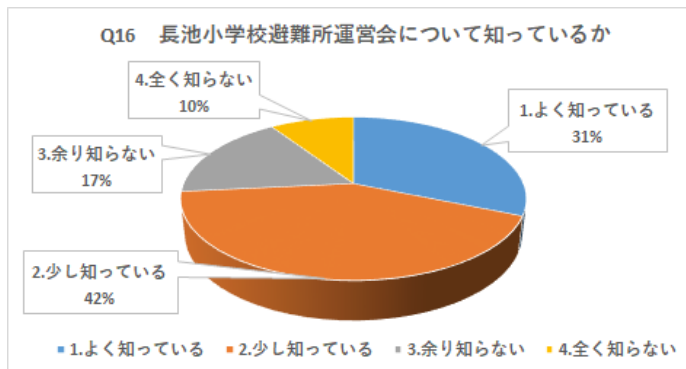
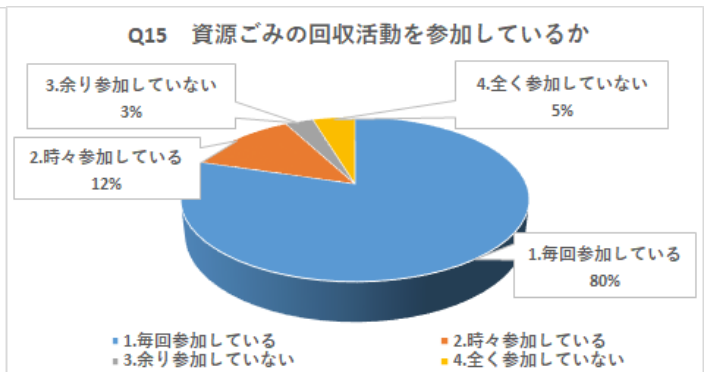
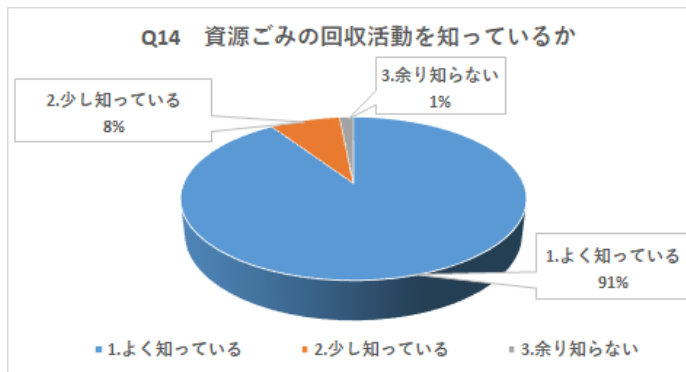
けやき広場やクラブウェストを町会の貴重な財産であると認識しているご家庭は、80%を超えているが、実際の利用状況は30%程度である。活用ガーデンの興味層も同様に30%程度である。



5. 町会活動に関する結果

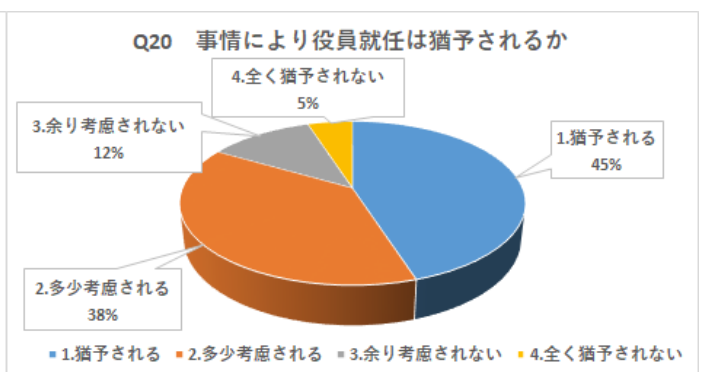
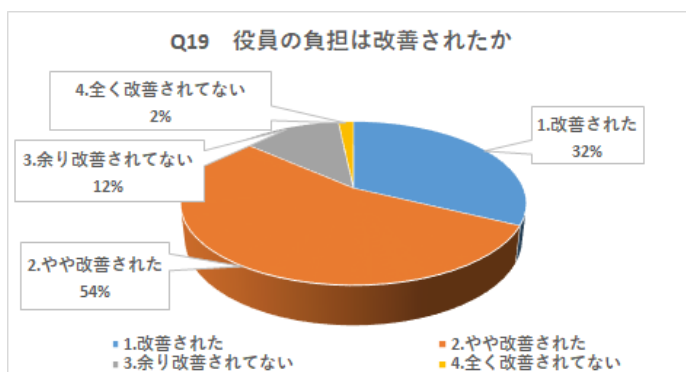
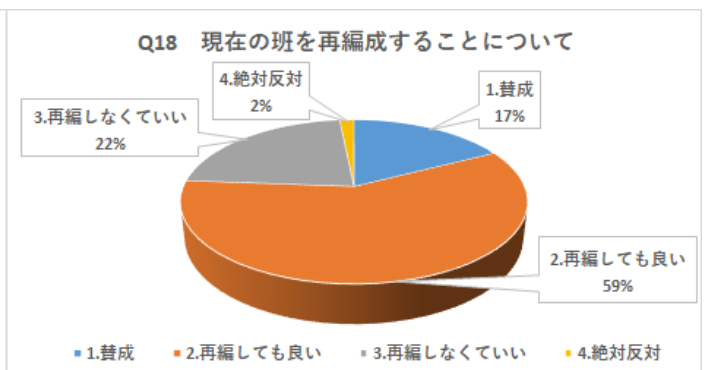
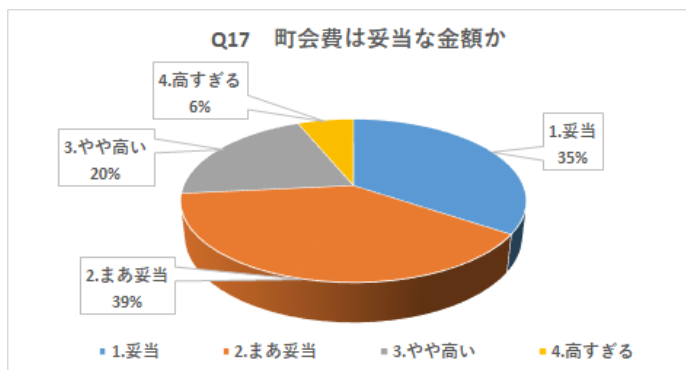
ハーブ倶楽部やゴルフ部の活動の関心層は、活用ガーデンと同様に30%程度である。グリーンクラブ、資源ごみの回収活動、長池小学校の避難所運営会については、高い認知度を得ている(それぞれ、88%, 99%, 73%)。また、資源ごみの回収には90%以上のご家庭が参加されている。





6. 町会費の負担に関する結果

町会費はおおむねのご家庭で妥当と考えられていることが分かる(74%)。班の再編成には賛成意見が多数であるが(76%)、現状でも役員負担が改善されている(86%)、役員就任は事情により猶予されている(83%)との意見が多く、全体的な割合からすると、班の再編成は喫緊の課題ではないことが分かる。



しかし、自由記述欄を見ると、再編成を希望あるいは容認する意見が多く、特定の班については強い再編意見がある。

【以下、再編成への個別意見】

【Q18:再編に賛成】

- 班によって大差があるのでは。
- 偏りをなくして現状に合った班の再編成するのは私としては賛成。
- 班を編成する世帯数は、できるだけ均等な方が、班長、役員の負担も平準化されると思うので。
- 町会が発足した当時と状況が変化して大きな偏りが出ているため、現状に応じた班編成をした方が良い。
- 各班のバランスをとるため必要だと思う。
- 役員・班長の分担に不公平が生じてしまうから。再編成して新しい顔ぶれの班構成になることで、新たな交流が生まれ、西町会での顔見知りが増えることは良いと思う。
- 世帯数が減少しているため、班の再編は切実に望みます。全体の再編にならないとしても、●班に関しては、どこかに併合してもらいたいです(南、中央、北ブロックと分割して併合しても良いと思う)。

【Q18:再編しても良い】

- 偏りがあるから。
- コミュニティや諸々で、班の意味合いもなくなっている。何のために班を維持するのかを考え直す時期かもしれない。一方、役員選出の目的だけなら、班編成よりも役員選出方法の改善が必要。
- 再編しても良いが、今後退会者がでる可能性が問題。
- 戸数のバランスをとる必要があるため。
- 他の班が困っているのなら協力しても良いと考える。
- 現状では、班員が多く減少した班については、合併などの再編成をするなどにとどめる。
- 偏りがあるままでは運営しにくいと思うので、再編はしても良いと思いますが、班によって役割の決め方が違ったり、過去の実績をどう考えるか等、課題はある。
- 偏りの是正と新たなコミュニケーションの拡大。
- 退会者はさらに増えていくだろうから、再編せざるを得なくなる。
- 地域の不公平性を是正するのが妥当だと思います。
- 公平な方が良い。
- 偏りがあり負担のばらつきがあるため。
- 班の交流はないので。

【Q18:再編しなくて良い】

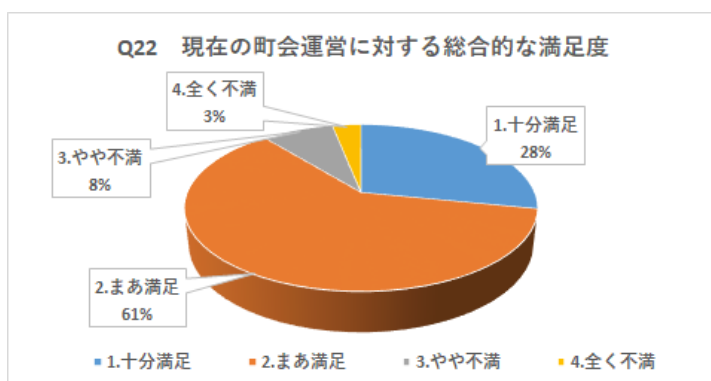
- 問題は役員選出の際の各班間の不公平さだと思うので、少世帯数の班は、役員選出の際に、別の少世帯数の班と合同で選出する方法で良い。これまでの各班ごとの活動に影響を与えない方が良い。
- 調整が必要であり、本質的な解決にならない。
- 班内で顔が見える関係が構築されているため。班内のコミュニケーションが良好なため。
- 現在の班編成を大切に。やむをえない班については再編も必要と考える。
- 今適切に運用されているため。
- 現状通りで良いと思う。
- 再編しても時間が経てば、また偏りが生じる可能性が高い。役員の選出方法を変えない限り不公平感を招く。
- 班、●班は役員を交代で割り当てることでうまく運用できている。●班は班の再編成によりうまくいかない点があったと聞いている。根本対策を講じないと、再編成してもまた偏りが生じる。
- 現在の班の皆様が良い方たちばかりなので…
- 今まで構築されてきた班のルールや運営方法がなくなってしまうから。

【以下、役員や会長の選任方法への個別意見】

- 意欲、意志があれば、5 年 10 年の長期留任も良いのではないだろうか。長期就任がダメな理由が分からない。会計等を気にしているのなら監査方法を変えればよい。
- 今まで通り、班内で決めたルールに従って持ち回りで良いと思う。
- 会長については意欲がある人を推薦する。
- 役員は有志をつのり、登録制にして、町会費免除等得点を与える。班長については現行通り。
- 高齢を理由に町会を脱会しないように、高齢者世帯は本人の意向により役員等は免除できる方法を考えても良い。
- 役員はやっても構わないと考えている人だけを対象として順番に決める体制とする(班長は従来通り)。
- 今の持ち回り方式は限界
- 班では過去 2 回の会長決めはくじ引きで行われました。これまでの流れをみると、会長選が近づく→退会者が出る→当選確率がより高まる→退会者が増えるという悪循環が起こっているように感じます。
- 町会活動は大切だと思っているので、現在の持ち回り制で良いと思います。
- やはり可能な限りの町会員の公平な分担が原則ですね。
- 班によると選出不可能な班もあるので、役員は全体から公募する方法も検討ください。
- 班長、役員の各班からの選出にあたっては、各家庭の事情も変化することを考え、また、一年に一度くらいは同じ班の人間同士顔合わせにもなるので、毎年話し合いの場を設けて、決めていくと良いのではないのでしょうか？
- 会長については班持ち回りでなく、複数期継続できる仕組みが良いと思います。退会者増の一因かと思えます。

7. 町会運営全般に関する結果

現在の町会運営に満足していると肯定的な回答しているご家庭が 90% 近くおり、全体的に多くの支持を集めていることが分かる。



【以下、町会運営に関する意見・提案等】

- 地区の地産価値を維持するためにも、一定の活動度を伴った町会活動は大切だと思っています。
- 私たちも高齢者となりつつあります。体力的に能力的に役員が負担となりつつあります。体力のある方、能力のある方、専門的知識をもった方に役員をお任せしたいです。
- 役員さんの負担が大きくなってくると大変だろうと思う。資源ごみの回収について。できるだけ参加させていたっていますが、早朝仕事にでかけるため、資源ごみとはいえ所詮ごみですので、玄関前に長時間置きっぱなしというのは見た目が悪いし、気がかりです。できれば 9 時ごろまでに回収していただければいいのですが

… 曜日を変更するとか、良い案はないでしょうか？ 検討をお願いいたします。

- 町会・草刈りに出席した家庭には 1 回につき 500 円を返金する。
- 防犯・防災や緑地等、住環境の整備、そして町会員の交流など、当たり前のように享受して生活していますが、それらのために尽力いただき、役員・班長の皆さんには感謝しています。
- 町会員の高齢化がさらに進行すると、ボランティアにも限界が来るのではないかと心配です。
- 町会には(退会者も含め)加入してもらような策を進めてほしい。町会を盛り上げていくためには、できる限り多くの会員の参加が必要だと思います。
- 今年度の活動内容のまま、年 1~2 回のイベントが存続できると、大人の交流が長期的に続くので良いと思う。防災・防犯の面からも役員会は必要だと思うので、時代の流れは否めないが、退会者を増やさないことが重要だと考える。帰省シーズンに帰ってきたお孫さん向けの企画があるのと良いのでは？
- いつもお世話になっております・
- グリーンクラブの活動も高齢化が進むと困難になると思われ、長期的な視点で対策が必要
- ホームページ…あまり…アナログが良いこともありますね。大変なもの理解いたしますがね…ご苦労様です。
- もちつきや夕涼み会は続けてほしいが、各世帯の年齢構成の変化もあり、負担が少なくて済むような方法や規模の模索をお願いします。
- 役員の業務を減らすことが重要だと思います。退会理由になる可能性が高いので。
- 町会が所有している防災品として発電機があるが、定期的に稼働させた方が良いのでは？ いざという時に故障して動作しないでは話にならない。
- 班会議を対面で、年 1~2 回開いて、交流と情報交換をする。各戸の事情を皆で考えたうえ役員選出を行う。
- 町会が活気づくための行事など、タスクチームを作り、一度ご検討ください。
- 役員選出以外は今のやり方で良いと思います。

8. 町会運営の満足度に影響を及ぼしている要因の分析

町会運営の満足度に影響を及ぼしている要因を分析した(重回帰分析という手法を用いて)。その結果、最も強い影響を及ぼしているのは、町会費の妥当性であった(t 値=2.629)。つまり、町会費を妥当だと思っていればいるほど、町会運営の満足度は高くなり、逆に町会費を高すぎると思っているほど、満足度は低くなるということである。しかし、これは因果が逆の可能性もある。つまり、町会運営に満足しているからこそ、町会費を妥当だと思っている、ということである。

次に、満足度に影響を及ぼしている要因は、活用ガーデンに関する関心度(t 値=1.927)であった。つまり、活用ガーデンに関心を持っているほど、町会運営に満足しているということである。以降は、統計的に有意な結果ではないが、「町会だよりや HP の有用性(t 値=1.593)」、「LINE の賛成度(t 値=1.520)」、「役員負担の猶予(t 値=1.633)」、「けやき広場やクラブウェストを貴重な資産と認識している度合い(t 値=1.339)」の順に満足度にプラスの影響を及ぼしていた。